

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

ナチュラル

ヴィンテージ

Natural Vintage

収納扉

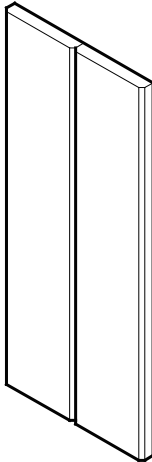


《扉施工用》

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

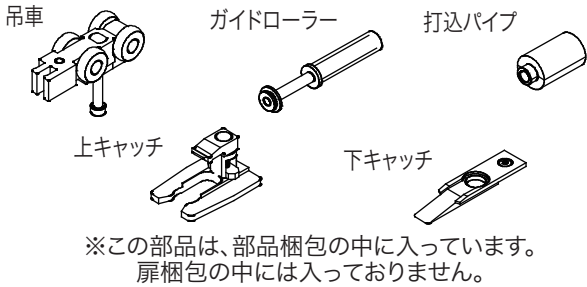
！

施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
- 使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

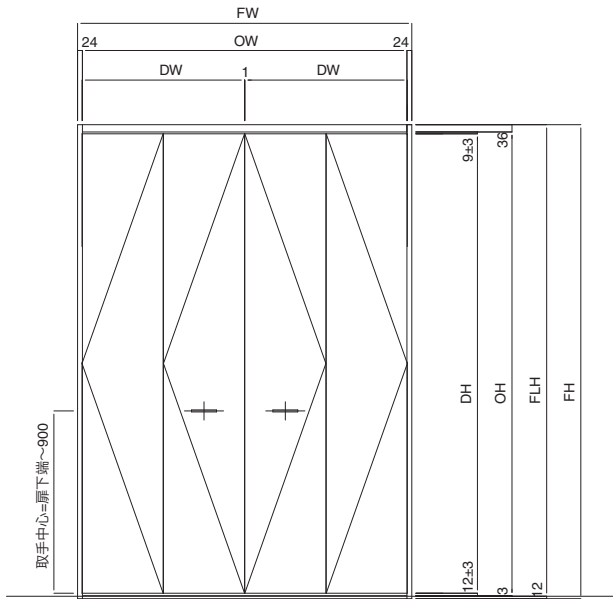
扉 梱 包									
	<幅30用>	<幅60用>	<幅90用>	<幅120用>		<幅30用>	<幅60用>	<幅90用>	<幅120用>
扉本体	1	2	3	4	取手 ※ビス付	1	2	3	4
									
						クッション	—	2	4
						 t1×φ10			

部品梱包	＜幅30用＞	＜幅60用＞	＜幅90用＞	＜幅120用＞
吊車	2	4	6	8
ガイドローラー	2	4	6	8
打込パイプ	1	1	1	1
上キャッチ	1	2	2	2
下キャッチ	1	2	2	2



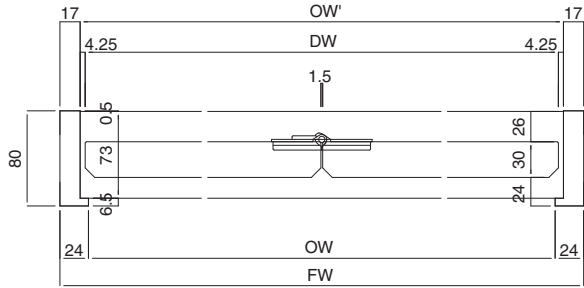
納まり図

姿図

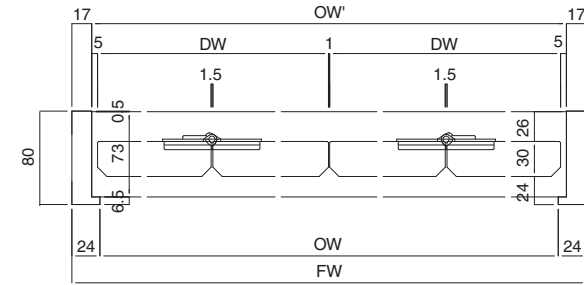


横断面図

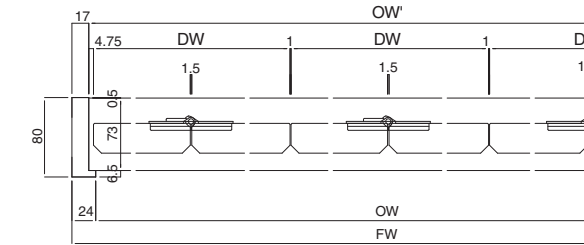
＜幅30用＞



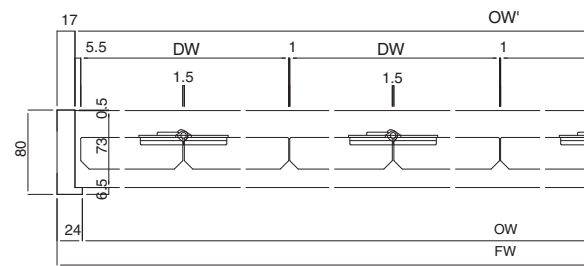
＜幅60用＞



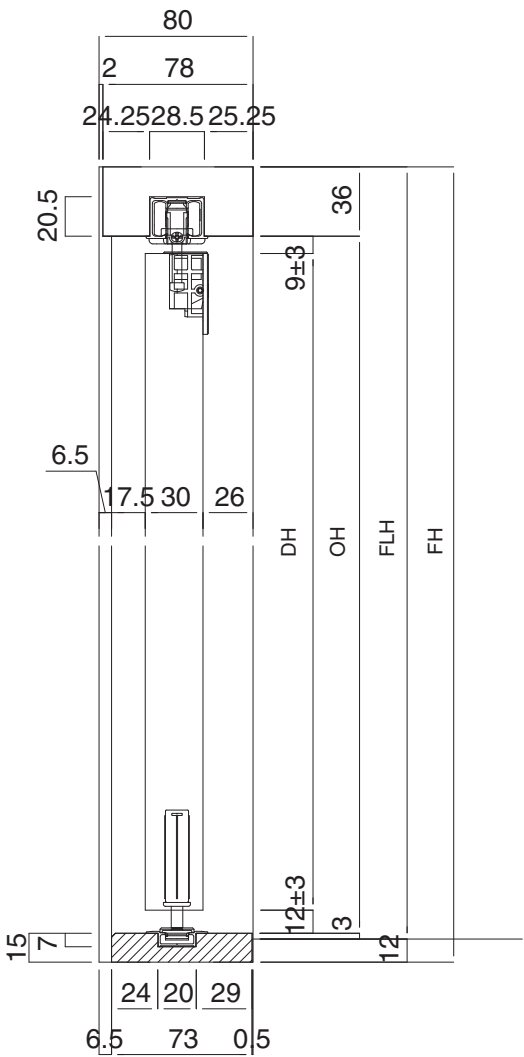
＜幅90用＞



＜幅120用＞



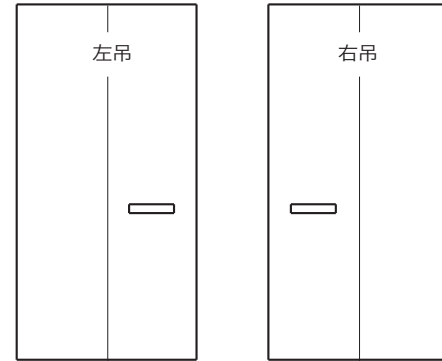
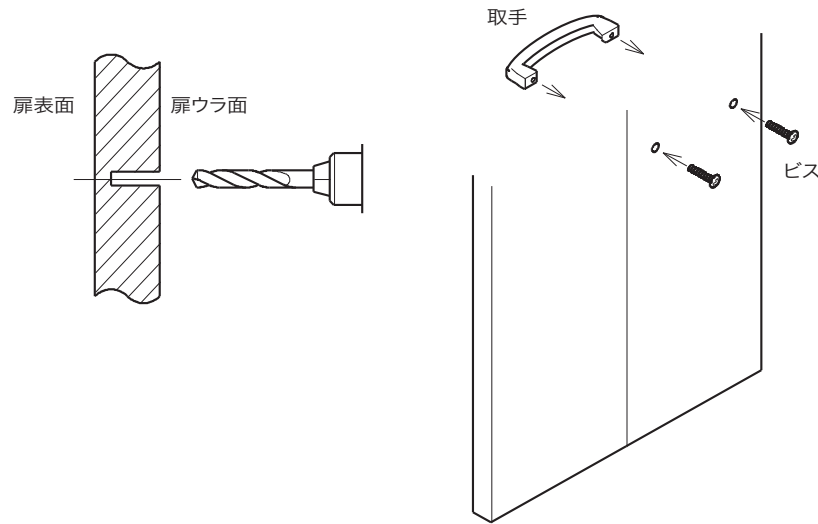
縦断面図



1. 部品の取付け

<取手の取付け>

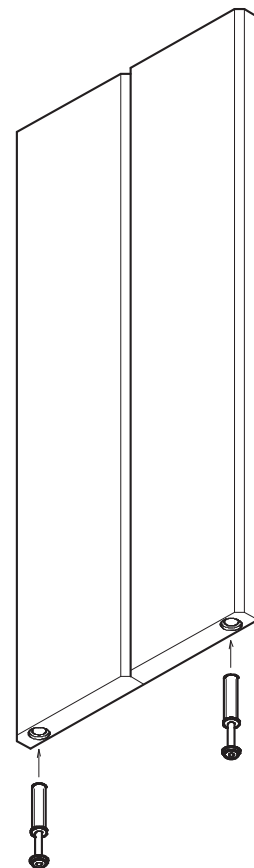
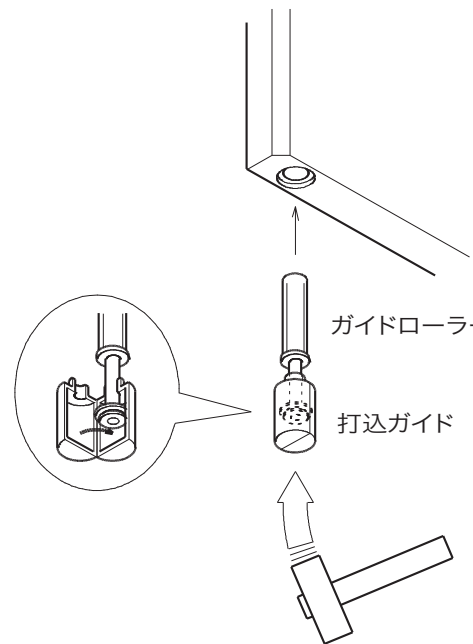
- ①扉の左右勝手を決めて、吊元側の反対の扉に裏面から取手取付け穴をキリ5で貫通させて、取手をビスで取付けてください。



<ガイドローラーの取付け>

- ①打込みパイプを使って、ガイドローラーを扉の下部に打込んでください。

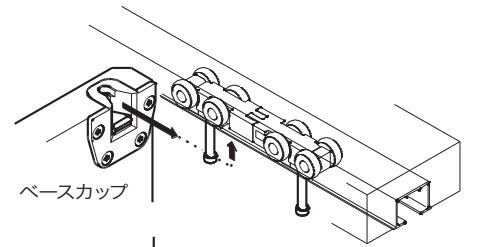
注意 金づち等で直接ガイドローラーを叩くと、破損の原因になります。必ずパイプを当てて打ち込んでください。



2. 扉の吊込み

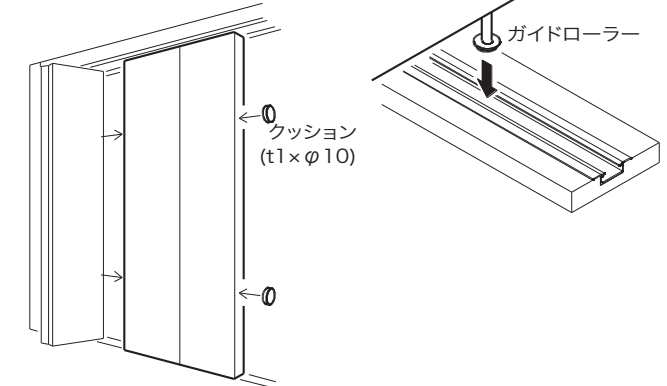
- ①扉下部のガイドローラーを下レールに入れてください。
②扉をたたんで、扉裏面のベースカップの溝に、吊車の軸をはさみ込んでください。
③はさみ込んだ状態から扉を持ち上げると、軸がベースカップに差し込まれ、接合できます。

注意 吊車の軸は、ベースカップに「カチャッ」と音がするまで完全に差し込んでください。誤った取付け方をしますと、扉が外れて、人身事故や家財の破損を引き起こす原因となります。



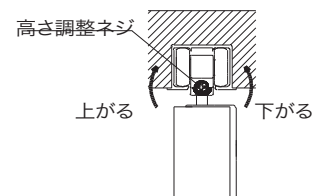
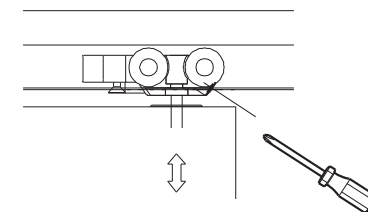
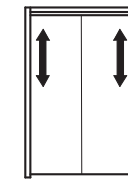
<クッションの貼付け>

- ①扉と扉の間隔を調整するために、扉小口にクッションを貼ってください。



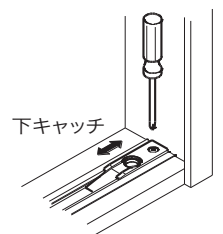
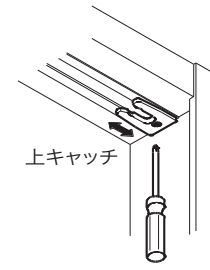
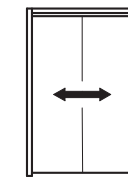
◆上下調整◆

- ①吊車の高さ調整ネジを、ドライバーで回して調整してください。



◆左右調整◆

- ①上下キャッチのビスをゆるめ、左右にずらして調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
- ※ダンボールはリサイクル品です。
- 地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。